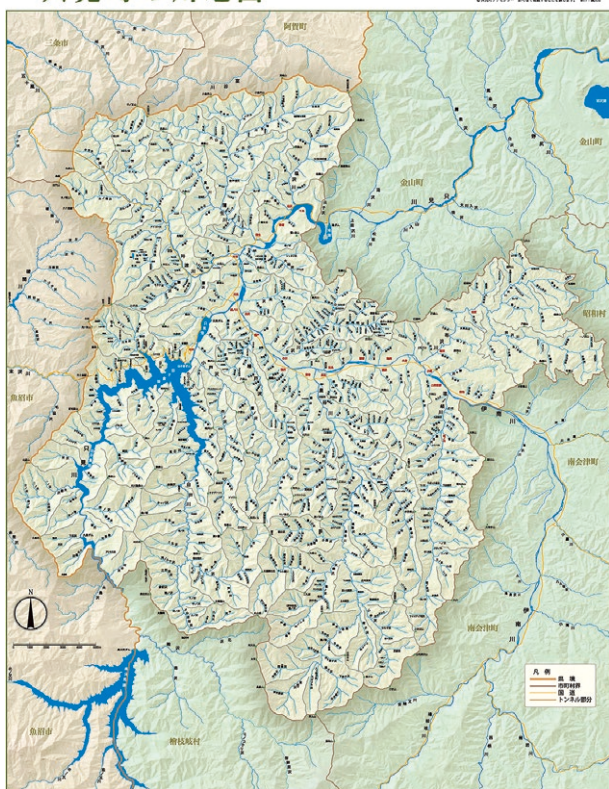




只見の河川・溪流

只見町には只見川や伊南川を代表に、大小様々な川や溪流があります。こうした川や溪流は、およそ1万年前に地球が冷えた時期（最終氷期）が終わってから今日まで、只見地域の大地に広がる比較的もろい緑色凝灰岩が、豪雪と雪崩、水の流れによって削り取られてできたものです。雪解け水や山地に降った雨は、無数の細い流れとなり、それらの流れは合流し、小さな溪流が川に入ると次第に水かさを増し、川幅を大きくしながら、伊南川、只見川に注ぎ込んでいます。

只見町の川地図



▲只見の川地図。住民の方への聞き取りをもとに溪流・河川の位置と名称が記された地図です。ただみ・ブナと川のミュージアム、ふるさと館田子倉では、A1サイズ、500円で販売しています。

そして、驚くべきことに無数にある川や溪流のほとんどに名まえがつけられており、その数はおよそ800以上にのぼります。それら川や溪流の名まえは、その環境や位置、住民による活用の内容などを表すものがあてがわれています。一方で、名まえのない川や溪流もあります。その理由を只見の古老に聞くと、「狩猟、山菜・きのこの採取、漁撈などの利用がなかったから名まえがないだけ」とのことでした。極めて明快な理由です。これだけ多くの名まえがついているということは、只見の人々が生活の中で多くの川や溪流をさかんに利用してきたことを証明するものなのです。

只見町ブナセンターからのお知らせ

7月は下記イベントを開催しております。

■企画展「豪雪に育まれた豊かな川辺の生態系」

会期：2025年7月19日(土)～2025年12月1日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー